



ニュースレター

2023年2月23日配信

イスラエルの我が家からシャローム！私たちの世界では、またしてもニュースが盛りだくさんで非常に忙しい一週間でした。このような時、「アミール、大患難は始まったのですか？」という問い合わせが多くなります。その懸念は理解できます。トルコとシリアでは地面の揺れが止まらず、現在、地震はレバノンとイスラエルで感じられ、エジプトにまで及んでいます。そして、トランポリンのように感じているのは中東だけではありません。フィリピン、インドネシア、オマーンなど世界各地も揺れています。

しかし、人々はその疑問を抱く原因となっているのは、地盤の移動だけではありません。グローバリズムが台頭する一方で、モラルは急落しています。ロシア、イラン、トルコ、スーダン、エゼキエル 38 の国々はすべて同盟を築いています。テクノロジーは、世界がまもなくグローバル通貨、統一宗教の形態、および大衆にマイクロチップを埋め込むのを目にすることが非常に現実的に考えられる時点にまで進歩しています。プーチン大統領は1年前のウクライナへの遠征を「軍事作戦」と呼んでいます。それが戦争であることは誰もが知っています。そして、世界中の他の多くの地域でも戦争のうわさが広がっています。

私たちの周りの世界で起こっている事から私が次に書いた著書、[Has The Tribulation Begun? \(大患難は始まったのか?\)](#) (英語) が、5月にリリースされます。しかし、心配しないでください。質問への回答を2か月も待たせることはありません。いいえ、大患難は始まっていません。どうして確信できるのか？それは、私がまだこの地上にいて、このニュースレターを書いているからです。携挙は大患難に先行しなければなりませんから、携挙が起こっていなければ、大患難は起こりません。私の新しい本では、なぜ大患難が必要なのか、その時が近づいていることをどのように知ることができるのか、携挙があることをどのように確信できるのか、取り残された人々は何を経験するのかについて掘り下げています。これは私の著書の中で最も伝

道的な一冊です。なぜなら、大患難を学べば学ぶほど、私の愛する人々にはそれを経験して欲しくないという願いが増大しますから。

いいえ、大患難は始まっていません。しかし、それはすぐに来ます。ですから、救世主であるイエスにある希望と、すべての人に与えられた永遠の命の約束を分かち合うことによって、私たちに残された時間を償還しましょう。

ローマ人への手紙 10:11-13

聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」

ユダヤ人とギリシヤ人との区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです。

【中東】

2月7日以降、7,700回の地震が中東を揺るがした

トルコとシリア北部は、引き続き地殻変動のグラウンド・ゼロとなっている。最初の2つの大きな地震が2月7日に発生して以来、7,700回以上の余震があった。[最大 M6.4](#)の地震が月曜日にトルコの都市アンタキヤの近くを襲い、6人が死亡、数十棟もの建物が崩壊した。その多くはシリア国境に近いハタイ州で起こり、さらにトルコ、シリア、レバノン、イスラエル、エジプトでも揺れが感じられた。最初の地震による死亡者数は45,000人を超え、122,000人が負傷している。

イスラエル、シリアでイランの無人偵察機の専門家を標的

イスラエルの戦闘機が[ダマスカスのカファル・スーサ地区で攻撃](#)を行い、少なくとも5人が死亡、さらに15人が負傷した。標的となったのは、ドローン開発に関わるイランの専門家の会合で、死亡したのは実際にはイラン・イスラム革命防衛隊 (IRGC) の高官8人だったという報告もあれば、シリア人技術者とイラン人役人が死亡したという報告もある。攻撃を受けたエリアは、IRGCのグズ軍のオフィスと支部を収容するセキュリティゾーンとして機能している。イスラエルはその方針に従って、攻撃での役割を明かすことを否定。ロシアは後にイスラエルの行動を、国際法の「目に余る違反」であると非難した。

ネタニヤフの司法改革法案、最初のハードルをクリア

火曜日の早朝、イスラエル首相 [ベンヤミン・ネタニヤフの司法改革法案](#) が第一審議を通過。左派から激しく攻撃されているこの法案は、高等裁判所が審査できる法律の種類を減らし、他の裁判官の裁判官を任命する権限を奪い、立法府の手に委ねることによって、イスラエルの司法権の拡大を制限するためのもので、改革が発効するためには、法案の第二、第三審議が必要となる。

国連安全保障理事会、歴史的な祖国に住むユダヤ人の権利を否定する声明を発表

米国は、国連安全保障理事会の他の加盟国に加わり、[歴史的な祖国におけるイスラエルの居住を非難](#) した。声明は、パレスチナ人グループによる最近のイスラエルに対するテロ攻撃と、パレスチナ当局がテロに助成金を出し、テロリストの家族に支払いをしているという事実を無視しながら、居住地を拡大するというイスラエルの決定に対する「深い懸念と落胆」を表明した。ネタニヤフ首相は、「声明は出すべきではなく、また米国はそれに加わるべきではなかった」と非難した。

IRGC（イラン革命防衛隊）、カミカゼドローンを使用してイスラエル所有のタンカーを攻撃

イスラエル人が所有するリベリア船籍の石油タンカーである Campo Square が、イランの IRGC が運用する [Shahed-136 自爆ドローンによる攻撃を受けた](#)。これらは、ウクライナとの紛争で使用するためにイランからロシアに出荷されているのと同じドローンである。死傷者や損害は報告されていない。

EU とイランの間の制裁合戦

月曜日、欧州連合は、2022 年 9 月のマーサー・アミニさんの死に抗議する人々に対するイランの暴力的な弾圧に関連する [制裁を拡大した](#)。さらに 32 人のイラン当局者に資産凍結とビザ禁止が課され、合計で 196 人の個人と 33 の団体が制裁対象となった。翌日、イランは EU と英国の 23 人と 13 の産業に対して報復制裁を発動した。抗議行動に関しては、一時の小康状態の後、[再び本格的に炎上している](#)。

IAEA、イランによる 84% のウラン濃縮を認める

国際原子力機関 (IAEA) は、イランの核施設での [84% に濃縮されたウランの検出を認めた](#)。このことから、核監視機関が、イランが兵器級の 90%濃縮ウランをしばらくの間保有していたことに、まったく気付いていなかった数少ない組織の 1 つであることが分かる。

ディアスポラのユダヤ人に対するイランの暗殺計画

イランが関与していた[暗殺の絶好の標的となるイスラエル国外に住むユダヤ人](#)の場所をマッピングする計画が明らかになった。テヘランでのハイレベル会議で明らかにされたこの計画は、イスラエルがイランの核施設を攻撃した場合に実行される事になっていた。一方、バイデン政権は、この同じ IRGC をテロリストグループとして指定することを控えるよう[英国に圧力をかけている](#)。欧州議会が最近、前政権下の米国と同様に指定したにも関わらずである。ワシントンは、失敗に終わったイランとの核合意を、どうにかして復活させようと期待して、罪のない民間人に対するテヘランの暗殺計画を無視する方を選択している。

イスラエルの高位政治家、ウクライナ訪問後、ウクライナへの軍事援助を推奨

月曜日、2人の高位イスラエル議員、[ユリ・エデルスタインとゼエフ・エルキンは](#)、キエフでウクライナ大統領ヴォロディミル・ゼレンスキーと会談した。二人ともウクライナ出身で、クネセトでウクライナ議会の友好グループを率いている。会談後、彼らは共同声明を発表し、その一部には「イスラエルはウクライナに大規模な人道支援を提供しており、今後も提供し続けていく。しかし我々の意見としては、それだけでは不十分である」と書かれている。声明は、イスラエル政府が戦争遂行を支援するために軍事技術をウクライナに提供することを奨励しており、感情的にイスラエルとロシアとの関係をよりこじらせることは間違いない。

ジョー・バイデン米大統領、ウクライナをサプライズ訪問

ロシアのウクライナ侵攻から1周年を迎える前日、[ジョー・バイデン大統領はキエフをサプライズ訪問した](#)。ウクライナのゼレンスキー大統領との会談で、バイデンは国に対するアメリカの支持を再確認し、さらに5億ドルの軍事援助を約束した。モスクワは事前に訪問について知らされており、首都に巡航ミサイルを降らせるという最近の彼らのお気に入りの娯楽を少し休むことで敬意を示した。

米国、中国にロシアへの武器供給を警告

米国は、[中国がロシアへの軍事提供を考慮しているという示唆を受けて](#)、アンソニー・ブリンケン国務長官が日曜日に声明を出し、そのような行動は良くないと述べた。ブリンケンは、「これが深刻な問題になることを（中国の外交政策高官である）王毅氏に明確に伝えることが、非常に重要だった」と語った。当然のことながら、王毅はブリンケンの声明を快く受け止めず、翌日、「中国とロシアの関係におけるアメリカの指押しは受け入れない」と答えた。

ウラジーミル・プーチンの道徳的スピーチ、軍事作戦の記念日となる

火曜日、[大悪党ウラジミール・プーチン](#)は、ウクライナに対する彼の「軍事作戦」の1周年を記念して、連邦議会でスピーチを行った。その中で、彼はロシアの軍事力を強調し、「敵は戦場で我々を倒すことができないので、情報戦を戦っている」と述べ、その後、彼は自分の行動の正当性だけでなく、ロシア国民の正当性も擁護した。彼は道徳的な立場を強調して、西洋の退廃について語り、次のように述べた。「彼らは家族、文化、国家的アイデンティティを破壊し、墮落、小児性愛を含む子供の虐待、それが彼らの中では普通であると主張している。彼らは司祭たちに同性結婚を祝福するよう強要している。…しかし、ここで私が彼らに伝えたいことは、聖書と他の世界の宗教の主要な書を見れば、それらは家族が男と女の結合であることを含め、すべてを語っている。しかし、これらの聖典は現在疑問視されている。伝えられるところによると、ただの計画とはいえ、英国国教会は、“性差別のない神”という考え方の探求を計画しているという。何とすべきか。父よ、彼らをお赦しください。彼らは何をしているのか自分で分からないのです。」彼の言葉に見られるのは、キリスト教徒、ユダヤ教徒、イスラム教徒と共通の基盤を利用して彼らの支持を得ようとする試みである。しかし、聖なる響きのレトリックにだまされてはならない。プーチンは自分が正義の男であると心から信じているが、しかし彼の血まみれの行動を見れば彼の本性が分かる。

北朝鮮がミサイルを発射する最中、米国、韓国と日本との演習を開催

米国は日曜日に韓国と日本との[二国間演習を開催した](#)。北朝鮮が日本海に大陸間弾道ミサイル(ICBM)を発射した後、アジアの両国は別々にアメリカの B-1 爆撃機を護衛するためにアメリカの戦闘機に加わった。このような演習が続けば、北朝鮮は「前例のない対応」を実施すると脅迫している。

致命的なマールブルグ ウイルスが西アフリカに出現

赤道ギニアでは、[致命的なマールブルグ ウイルスが発生し](#)、犠牲者の 88% が死亡。コウモリが媒介するエボラ関連のウイルスは、中央アフリカの国ですでに 9 人の命を奪い、さらに 16 人の症例が調査されている。

アブダビでのエイブラハム合意の実施

先週、アラブ首長国連邦のアブダビで、アブラハム合意が全面的に展示され、まず、[アブラハム ファミリーハウス](#)が一般公開された。この宗教間センターは、国の宗教的多様性の歴史を祝うために建設された。シナゴグ、モスク、教会を収容する、すべて同じ大きさの白い大理石の建造物であるアブラハム ファミ

リーハウスは、3つの信仰すべての価値を同一視しようとするエキュメニズムではなく、アラブ世界へのイスラエルの受け入れを高めた事が賞賛される。エイブラハム合意の第二の見どころは、[1デックス 2023 の 3 つのサービス \(陸軍、海軍、空軍\)](#) の防衛展示会である。その種の催しでは最大のもので、月曜日にその扉が開かれたとき、イスラエルの企業は初めて参加を許可された。

【ミニストリー】

1人のグローバルリーダーと世界統一政府のための大胆な計画の証拠は、私たちの周りにあります。2月24日金曜日午後12時（太平洋時間）に公開される私のメッセージ「[イルミナティと世界統一政府](#)」（日本語字幕）では、宗教、カルト、および現代の強力な上級層による支配に対する悪魔的な働きの歴史を説明します。「ルシファアの光」が導く世界。ぜひご覧ください！

[Watchman Newscast](#)（英語）での Erick Stakelbeck との対談を見逃した方は、ぜひチェックしてみてください。私たちは、イラン、ロシア、ウクライナ、トルコの地震、ベンヤミン・ネタニヤフ首相を引きずり下ろそうとする左派の動きについて話しました。また、個人的な証を分かち合う機会もありました。一見の価値があると私が本当に信じているインタビューです。

“Israel and the Church”のギブアウェイを発表できることを嬉しく思います！私たちは、米国とカナダの指導者、牧師、教師に、この本をミニストリーの働きに備えるための手段としてご利用されるよう、呼びかけています。群れを牧している方、教会で教えている方、高校や大学のキャンパスで次世代を指導している方も、この本の内容から聖書の真理が簡単に理解できるようになると信じています。Israel and The Churchの本とスタディーガイドをご希望の方は、[今日ご登録ください。（米国、カナダ限定）](#)

初代教会が始まったとき、長老たちは「祈りと御言葉の奉仕」に専念しました。（使徒 6:4） ビホールド・イスラエルでも、キリスト者の生活に不可欠なこれら2つの要素に専念しています。そのため、毎週月曜日の午前10時（太平洋時間）に、毎週祈り会を開催しています。世界中の信者が集まり、世界の出来事、イスラエルの国、ビホールド・イスラエルのミニストリー、そしてお互いのために祈る時です。その後、毎週木曜日の午後6時（太平洋時間）に、毎週の公開聖書朗読会（PRS）に再び集まります。私たちが集まり、神の御言葉をただ読むのは至福の時です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

祈りの中でビホールド・イスラエルを覚えてくださる皆様の忠実さを、神が祝福して下さいますように。
また、このミニストリーを経済的に支えてくださっている皆様にも、心より感謝申し上げます。皆様の忠実な友情を恐縮しつつ、光栄に思います。

ユダ 24-25

あなたがたを、つまづかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に、

すなわち、私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン。

主の来臨を待ち望む。



ビホールド イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.